



# ゴヨウマツ [五葉松]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



**科名** マツ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：遅い

庭園で配植されるゴヨウマツは、青味を帯びた短い葉を密生させるヒメコマツを指すことが多い。葉が密生してどっしりとした風格ある樹形になる。5本の葉を束生して付ける松を、まとめてゴヨウマツと呼び、産地名のついた品種も多い。生産はクロマツの台木に接木される。



葉



葉と雄花



新葉と雄花



球果

## Memo

5本の葉は、1本の円柱が5等分されるように伸びるため、5本の葉を束ねると元の円柱形になる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期												
果	実												
紅	葉												
施	肥	(不要)											
剪	定												

好みの環境				
日当り	陽	◎	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

## ポイント

生長が遅く大きくなりにくいいため、庭木に適している。和風庭園の主木になるが高価である。1本ごと樹形が異なるので、実物や写真を確認するとよい。日当たり良い場所に独立させて高植がお薦め。

## 剪定

幹肌と枝振りを生かした剪定がお薦め。庭園では、新梢の「緑摘み」や古葉の「揉み上げ」が欠かせない。放任すると徒長枝が伸び優雅な樹形を維持できない。

## 病虫害

「松くい虫」と呼ばれるマツノザイセンチュウによる枯れの被害がある。また、マツカレハの幼虫により葉が食害を受けることがある。